通信コンバータ　ＳＲＣＣ－ＦＰＷ
（ＵＳＢホスト⇔ＷｉＦｉタイプ）

取扱説明書

第４版

平成２７年４月

株式会社 M.C.S

〒060-0063　札幌市中央区南３条西８丁目７番地４　遠藤ビル５Ｆ
TEL　011-596-0201　FAX　011-596-0234
URL http://www.mcs-fs.com　E-mail info@mcs-fs.com

はじめに

このたびは、通信コンバータ　ＵＳＢホスト⇔ＷｉＦｉタイプ（ＳＲＣＣ－ＦＰＷ）をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
本製品は、ＦＴシリーズ（ＦＴ２およびＦＴＪｒ）の通信機能を拡張するためのオプションユニットで、ＦＴシリーズをＷｉＦｉを使用してネットワークへ接続可能とするＵＳＢ⇔ＷｉＦｉ変換アダプタです。
シリアル無線ＬＡＮプロトコル変換モジュールとしてＤｉｇｉ　Ｉｎｔｅｒｎａｔｉｏｎａｌ社製のＸＢｅｅ　Ｗｉ－Ｆｉを内蔵しています。

ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
なお、この説明書は必ず保管してください。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

本書は、お客様への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を示し、危険をともなう操作･お取扱について、次の記号で表示を行っています。よく読んで大切に保管してください。

本文中のマーク説明

警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。
	禁止の行為であることを示します。
	行為を強制したり指示する内容を示します。

警告

煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。感電・火災の原因となることがあります。
すぐに給電を止めてください。

表示されている電源以外は絶対に使用しないでください。
指定外の電源を使うと、感電・火災の原因となることがあります。

ぬれた手で結線作業を行わないでください。
感電の原因となることがあります。

異物や水などの液体が内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。感電・火災の原因となることがあります。
すぐに給電を止めてください。

本製品に接続して使用する機器の安全上の注意事項を守ってください。

本製品を分解改造しないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

ぬれた手で装置内部に触れないでください。
故障、感電の原因となることがあります。

注意

直射日光の当たるところや、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに設置しないでください。
内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

雨など水の掛かるところや、湿度の高い場所では使用しないでください。
故障・感電の原因となります。

本製品を正常にまた安全に使用していただくために、次のような場所では使用しないでください。

- 水の掛かる場所や湿度の高い場所
- 強い磁気の発生する場所
- 静電気の発生する場所
- 鉄粉や有毒ガスが発生する場所
- 振動・衝撃が多い場所
- 引火、爆発の恐れのある場所

ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に設置しないでください。落下してけがの原因となることがあります。

電源コードはホコリなどの異物が付着したまま結線しないでください。

電源端子のホコリは定期的に取り除いてください。
火災の原因となることがあります。

本製品や電源コードを熱器具に近づけないでください。
ケースや電源コードの被覆が溶けて、火災感電の原因となることがあります。

衝撃を与えたり、落としたりしないでください。

使用する前には、破損箇所、不備なところがないか点検し、正常に動作することを確認してから使用してください。

目次

１．　本製品の概要 …… ２

１．１　主な特長 …… ２
１．２　機能概要 …… ２
１．３　使用するまでの流れ …… ３

２．　本体外観、各部説明 …… ４

２．１　外観図 …… ４
２．２　各部説明 …… ５

３．　電源 …… ７

３．１　ＡＣアダプタ …… ７
３．２　外部電源 …… ７
３．３　ＵＳＢバスパワー給電について …… ７

４．　設定ツールのインストール …… ８

４．１　インストール …… ８
４．２　アンインストール …… ９
４．３　ソフトウェアの起動方法 …… １０

５．　通信コンバータの設定 …… １１

５．１　設定内容の読み出し …… １１
５．２　インフラストラクチャモードでの接続 …… １３
５．２．１　アクセスポイントの選択 …… １３
５．２．２　ＩＰアドレスの設定 …… １７
５．２．３　待ち受けポートの設定 …… １８
５．２．４　リモートＩＰアドレスおよびリモートポート番号の設定 …… １８
５．２．５　ノード識別子の設定 …… １９
５．２．６　設定内容の書き込み …… １９
５．２．７　ＡＰ接続状態の確認 …… ２１
５．３　アドホックモードでの接続 …… ２２
５．４　内蔵モジュールのメーカー製設定ツールについて …… ２６

６．　製品仕様 …… ２７

■ サポートのご案内 …… ２８

１.本製品の概要

１．１　主な特長

◇　本製品はアクセスポイントを介して通信を行うインフラストラクチャモードと、アクセスポイントを介さずに機器同士が直接通信を行うアドホックモードに対応しています。

◇　ＵＳＢバスパワーにより、ＦＴシリーズへ電源供給できます。

◇　動作電源は、ＡＣアダプタ、外部電源の２ＷＡＹ対応です。

◇　動作電源自動切り替え機能を装備しています。
（ＡＣ電源を優先利用、ＡＣ電源断時に外部電源側に自動切り替え。但し、両電源供給時）

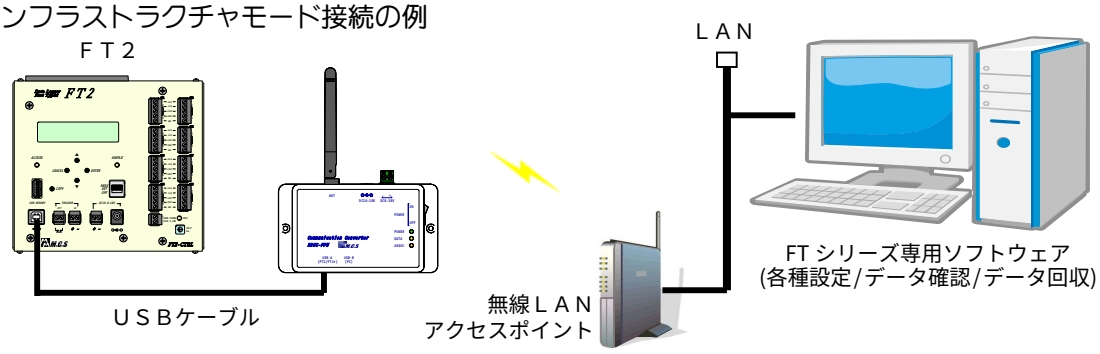
◇　－２５℃～＋６０℃の広い使用温度範囲で動作します。

１．２　機能概要

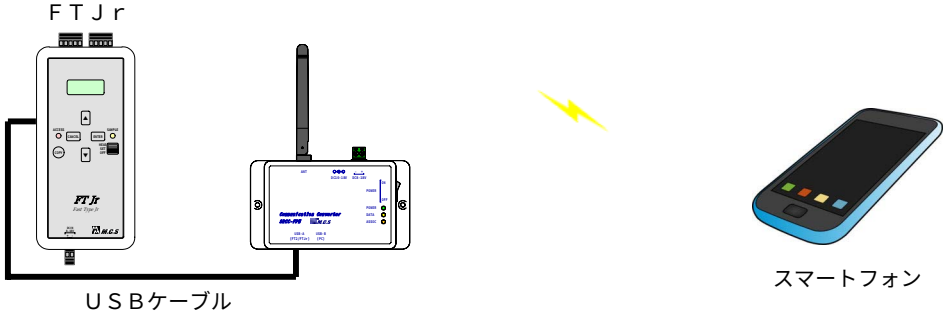
本製品は、ＦＴシリーズをＷｉＦｉ（無線ＬＡＮ）を経由してネットワークへ接続したり、スマートフォン等から直接通信できるようにするためのオプション製品です。

内蔵するＤｉｇｉ　Ｉｎｔｅｒｎａｔｉｏｎａｌ社無線モジュールＸＢｅｅ　Ｗｉ－Ｆｉのサーバー機能を利用して通信コンバータをサーバーとして動作させることで、ネットワークに接続されたパソコン上で動作するＦＴシリーズ専用ソフトウェアから、各種設定やデータ確認、データ回収が可能になります。
ルータのポートフォワーディング機能を利用することで、インターネットを介した遠隔地からの接続も可能です。

インフラストラクチャモード接続の例



アドホックモード接続の例



１．３　使用するまでの流れ

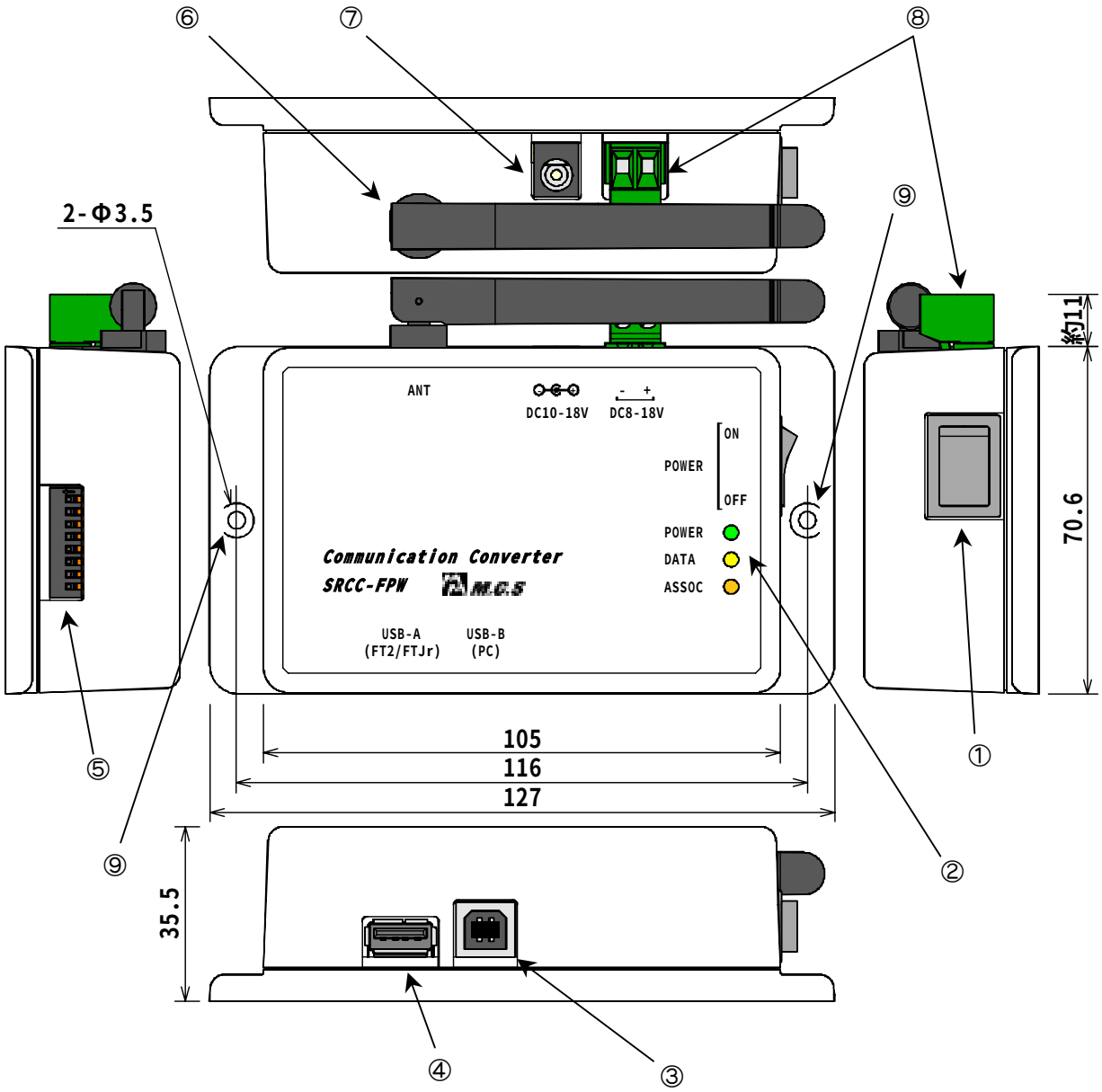
本製品をＦＴシリーズに接続して使用するまでの流れを以下に示します。
本製品を使用するためには、当社が提供するＦＴシリーズ用設定ソフトおよび本製品の設定ツール（ＳＲＣＣ設定ツール）をインストールしていただく必要があります。
設定時にＵＳＢケーブル（Ａコネクタオス～Ｂコネクタオスタイプ）が必要ですのでお手元にご用意ください。（本製品には添付していません。）
また、本製品の設定を行う際には、アクセスポイントと通信できる状況でなければなりません。
ＦＴシリーズ用設定ソフトのダウンロードおよびインストール方法などについては、ＦＴシリーズ用設定ソフトの操作説明書をご覧ください。
ＳＲＣＣ設定ツールのインストールについては、「４．設定ツールのインストール」で説明します。

パソコンにＦＴシリーズ用設定ソフトをインストール	ＦＴシリーズ用設定ソフトは当社ホームページよりダウンロードしてください。（ＣＤ－ＲＯＭでの購入時を除く）
↓	
パソコンとＦＴシリーズをＵＳＢケーブルで接続し、ＦＴシリーズ用設定ソフトを起動、直接接続してＦＴシリーズ本体を認識させる	ＦＴ２またはＦＴＪｒの取扱説明書用及びＦＴシリーズ設定ソフトの操作説明書を参照してください
↓	
本製品に添付のＣＤから設定ツールをインストールする	詳細は「４．設定ツールのインストール」を参照してください
↓	
ＦＴシリーズからＵＳＢケーブルを抜いて本製品のＵＳＢターゲットポートに接続し、本製品の電源をＯＮ	パソコンと本製品をＵＳＢケーブルで接続してください
↓	
設定ツールを起動し、アクセスポイントやＩＰアドレスなどを設定し、書き込みして終了	設定方法については「５．通信コンバータの設定」を参照してください
↓	
ＦＴシリーズ用設定ソフトの設置場所編集画面で、接続方法ほか変更	接続方式を「ネットワーク」に変更、ドメイン名／ＩＰアドレスおよびポート番号を設定してください
↓	
ＦＴシリーズと通信コンバータをＵＳＢケーブルで接続する	ＦＴシリーズのＵＳＢ通信インターフェースコネクタと本製品のＵＳＢホストポートを接続してください
↓	
ＦＴシリーズ用設定ソフトを起動し、ＦＴシリーズへ接続	直接接続ではなく、無線ＬＡＮ経由で接続してください

※インターネット越しにネットワーク接続する場合、通信コンバータ側のＩＰアドレスが固定ＩＰアドレスであるか、ＤＤＮＳ（ダイナミックドメインサービス）などのサービスを利用していることが前提です。
また、ルータのポートフォワーディング機能などを利用して、外部から通信コンバータ側へアクセス可能な状態になっている必要があります。

２.本体外観、各部説明

２．１　外観図



２．２　各部説明

① 電源スイッチ
ＯＦＦ：電源をオフにします。
ＯＮ　：電源をオンにします。

② 状態表示ＬＥＤ
本製品の動作状態を表すＬＥＤで、それぞれ以下のような状態を表します。
ＰＯＷＥＲ（緑色ＬＥＤ）　電源ＯＮ時点灯
　　設定ツールからの設定時またはＦＴシリーズ未接続時は点滅
ＤＡＴＡ　（黄色ＬＥＤ）　データ送受信中に点灯
ＡＳＳＯＣ（橙色ＬＥＤ）　アクセスポイントとの接続確立時に点滅
　　※設定書き込み直後は接続状態に関わらず点滅する場合があります

③ ＵＳＢターゲットポート（Ｂコネクタメス）
本製品の設定を行う際、ＳＲＣＣ設定ツールをインストールしたパソコンと本機を接続するためのＵＳＢケーブルを接続します。
※ＵＳＢターゲットポートにパソコンなどが接続され有効な信号が入力されているとき、ＵＳＢホストポートに接続されている無線モジュールがターゲットポートに接続されますので、ＵＳＢホストポートでの通信はできません。

④ ＵＳＢホストポート（Ａコネクタメス）
本製品の設定終了後、本製品とＦＴシリーズを接続するためのＵＳＢケーブルを接続します。

⑤ ボーレート設定用ディップスイッチ
ＵＳＢホストポートおよび、ＵＳＢターゲットポートのボーレート(通信速度[bps])を設定します。
ＳＷ１～ＳＷ４（左側の４つ）がＵＳＢホストポート側、ＳＷ５～ＳＷ８（右側の４つ）がＵＳＢターゲットポート側の設定を行うスイッチです。
ＵＳＢホストポートにＦＴシリーズを接続する場合には、ＳＷ１～ＳＷ４は 230400 にしてください。ＵＳＢターゲットポートは、内蔵のＷｉＦｉモジュールに接続されていますので、出荷時設定の 230400 でご使用ください。
※ＳＲＣＣ設定ツールにより、ＷｉＦｉモジュールのボーレートを変更した場合、ＳＷ５～ＳＷ８も変更したボーレートに合わせて設定してください。
（スイッチの状態は、上向きがＯＦＦ、下向きがＯＮです）

ボーレート	SW1	SW2	SW3	SW4	ボーレート	SW5	SW6	SW7	SW8
921600	OFF	OFF	OFF	OFF	921600	OFF	OFF	OFF	OFF
460800	ON	OFF	OFF	OFF	460800	ON	OFF	OFF	OFF
230400	OFF	ON	OFF	OFF	230400	OFF	ON	OFF	OFF
128000	ON	ON	OFF	OFF	128000	ON	ON	OFF	OFF
115200	OFF	OFF	ON	OFF	115200	OFF	OFF	ON	OFF
57600	ON	OFF	ON	OFF	57600	ON	OFF	ON	OFF
38400	OFF	ON	ON	OFF	38400	OFF	ON	ON	OFF
19200	ON	ON	ON	OFF	19200	ON	ON	ON	OFF
9600	ON	OFF	OFF	ON	9600	ON	OFF	OFF	ON
4800	OFF	ON	OFF	ON	4800	OFF	ON	OFF	ON
2400	ON	ON	OFF	ON	2400	ON	ON	OFF	ON
1200	OFF	OFF	ON	ON	1200	OFF	OFF	ON	ON
600	ON	OFF	ON	ON	600	ON	OFF	ON	ON
300	OFF	ON	ON	ON	300	OFF	ON	ON	ON
110	ON	ON	ON	ON	110	ON	ON	ON	ON

網掛けは初期値です

⑥ アンテナ
無線通信用のアンテナです。
アンテナは筐体に固定されていますので、取り外しはできません。

⑦ ＤＣジャック
ＡＣアダプタを使用する場合にＡＣアダプタのプラグを接続します。
供給電圧などは次項で説明します。

⑧ 外部電源接続端子
シール鉛蓄電池などの外部電源を接続するための端子です。
供給電圧などは次項で説明します。

⑨ 固定用ネジ穴
本製品を壁面などに設置する際に使用するネジ穴（２個）です。
ネジはＭ３を使用してください。

3.電源

本製品は、２種類の電源に対応しています。
複数の電源が接続されている場合の利用順位は、①ＡＣアダプタ、②外部電源の順です。
ＡＣアダプタと外部電源の両方から供給がある場合、ＡＣアダプタを優先して利用します。
これにより、通常はＡＣアダプタ動作、停電などによりＡＣアダプタからの供給が止まった場合にのみ外部電源で動作という運用が可能です。
以下に利用できる電源について説明します。

３．１　ＡＣアダプタ

オプションのＡＣアダプタを使用することで、ＡＣ電源で動作します。
【仕様】　許容電圧範囲：ＤＣ１０～１８Ｖ
　　対応プラグ　：外径５．５ｍｍ／内径２．１ｍｍ
　　極性　　：センタープラス
※スイッチング式ＡＣアダプタのご使用をおすすめいたします。

トランス式のＡＣアダプタの場合、電気的仕様にＤＣ１２Ｖ/１Ａなどの記載があるものでも、無負荷時には１８Ｖ以上出力されているものが多くありますのでテスタ等で電圧を測り、１８Ｖを超えていないことを確認の上ご使用ください。

ご不明な場合、弊社オプション品のＭＣＳ－ＡＤＰ１２Ｖをご使用ください

３．２　外部電源

本製品は、シール鉛蓄電池などの外部電源により動作することもできます。
太陽電池パネルとシール鉛蓄電池などを組み合わせ必要な電源容量を確保することで、商用電源のないところでの運用が可能です。
【仕様】　許容電圧範囲：ＤＣ８～１８Ｖ
　　供給方法　　：２極コネクタ

３．３　ＵＳＢバスパワー給電について

本製品は、ＵＳＢを介してＦＴシリーズと接続しますが、ＦＴシリーズに対しＵＳＢバスパワー給電を行います。
これにより、ＦＴシリーズには別途ＡＣアダプタなどを用意する必要はありませんが、本製品から給電可能な電源容量はＤＣ５Ｖ／１Ａ以内です。
（本製品に対しＤＣ１２Ｖを供給している場合）

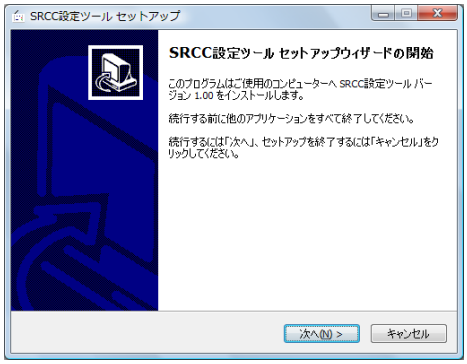
４.設定ツールのインストール

４．１　インストール

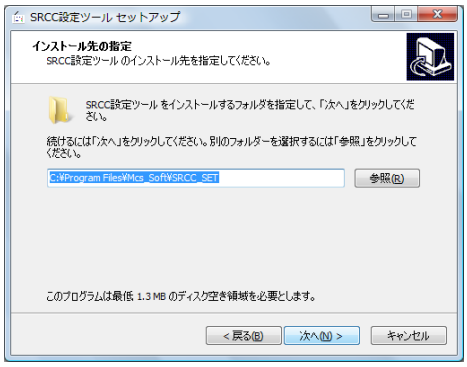
本製品に添付のＣＤの中にある setup.exe を実行するとセットアップウィザードが起動しますので、指示に従ってインストールしてください。

〈〈〈 注意 〉〉〉
Windows Vista™以降のＯＳのとき、「ユーザー　アカウント制御」ダイアログが現れ、プログラム実行許可の確認を求められる場合があります。
「認識できないプログラムがこのコンピュータへのアクセスを要求しています」と表示された場合は［許可］を、「次の不明な発行元からのプログラムにこのコンピュータへの変更を許可しますか？」と表示された場合は「はい」をクリックするとインストールを続行できます。

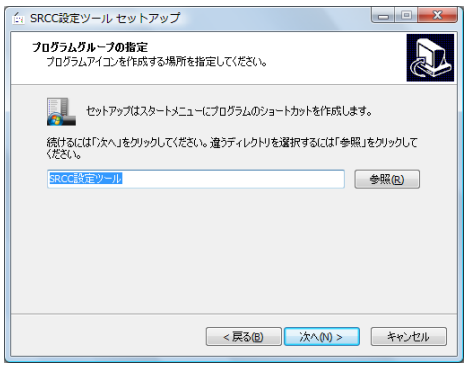
① 開始画面が表示されたら［次へ］ボタンをクリックしてください。



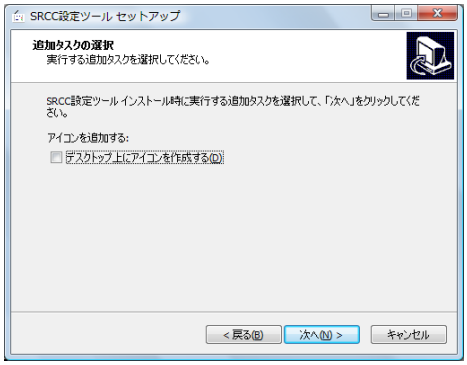
② インストール先の指定画面が表示されたら、［次へ］ボタンをクリックしてください。
インストール先を変更するときは、フォルダ名を直接入力するか、［参照］ボタンをクリックして選択したあとに［次へ］ボタンをクリックしてください。



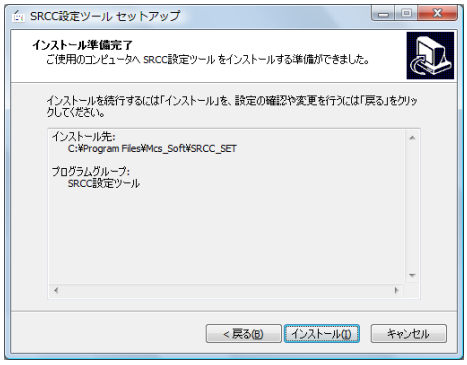
③ プログラムグループの指定画面が表示されたら、［次へ］ボタンをクリックしてください。
プログラムグループを変更するときは、グループ名を直接入力するか、［参照］ボタンをクリックして選択したあとに［次へ］ボタンをクリックしてください。



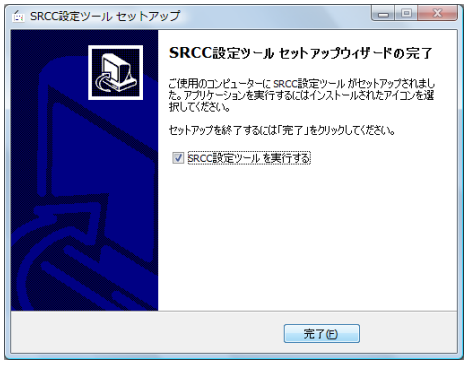
④ 追加タスクの選択画面が表示されたら、[次へ]ボタンをクリックします。
このとき、「デスクトップ上にアイコンを作成する」をチェックするとデスクトップにショートカットアイコンが作成されます。



⑤ インストール準備完了の画面が表示されたら、[インストール]ボタンをクリックしてインストール開始を指示します。



⑥ インストールが終了すると右の画面が表示されますので、[完了]ボタンをクリックしてインストールを終了します。
このとき「ＳＲＣＣ設定ツールを実行する」がチェックされているとＳＲＣＣ設定ツールが起動します。

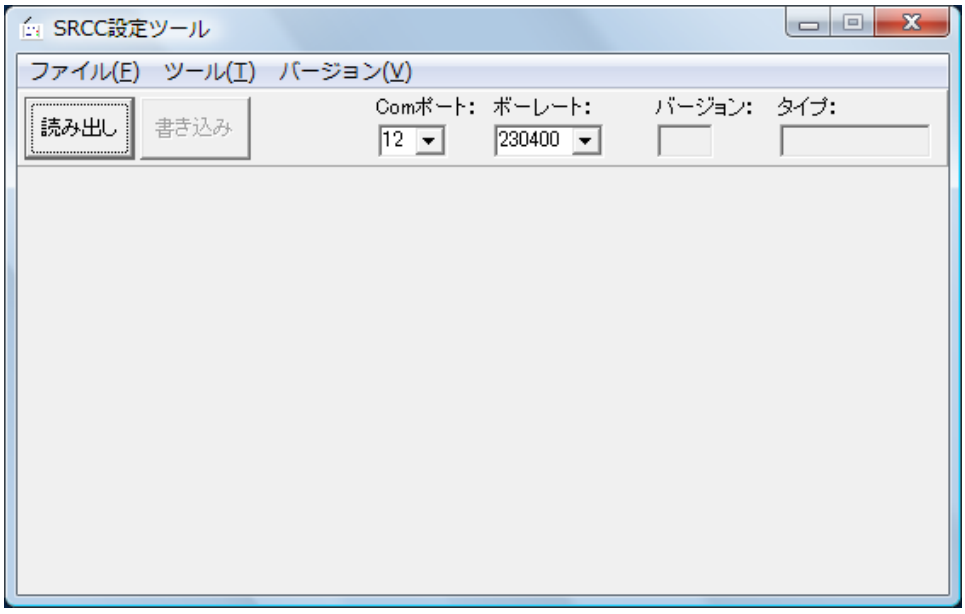


４．２　アンインストール

① コントロールパネルのプログラムと機能を実行します。
（WindowsXP の場合は「プログラムの追加と削除」）
② 「SRCC 設定ツール バージョン x.xx」を選択して右クリックメニューから「アンインストール」をクリックします。
③ セットアップウィザードが起動しますので、指示に従ってアンインストールを行います。

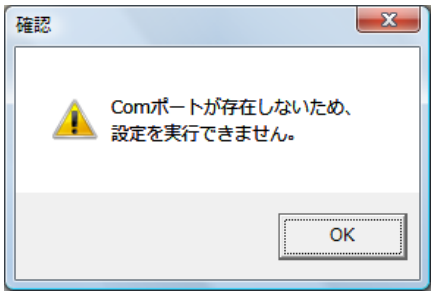
４．３　ソフトウェアの起動方法

Windows の「スタート」－「全てのプログラム」－「SRCC 設定ツール」－「SRCC 設定ツール」をクリックしてください。
ソフトウェアが起動し、以下の画面が表示されます。

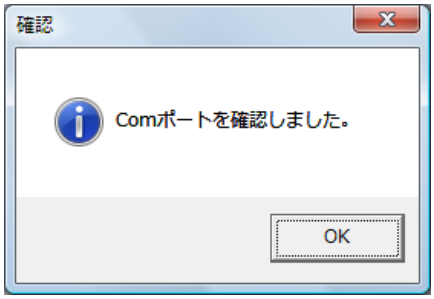


※表示されるＣｏｍポート、ボーレートはお客様の環境により異なります。
　２回目以降の起動時は前回終了したときの値が表示されます。

なお、起動時に以下のダイアログが表示される場合があります。
本画面が表示された場合は、パソコンと通信コンバータの接続および通信コンバータの電源がＯＮになっていることを確認し、ツールメニューの「Ｃｏｍポート確認」を実行してください。



Ｃｏｍポートが認識できると以下のダイアログが表示され、通信が可能になります。



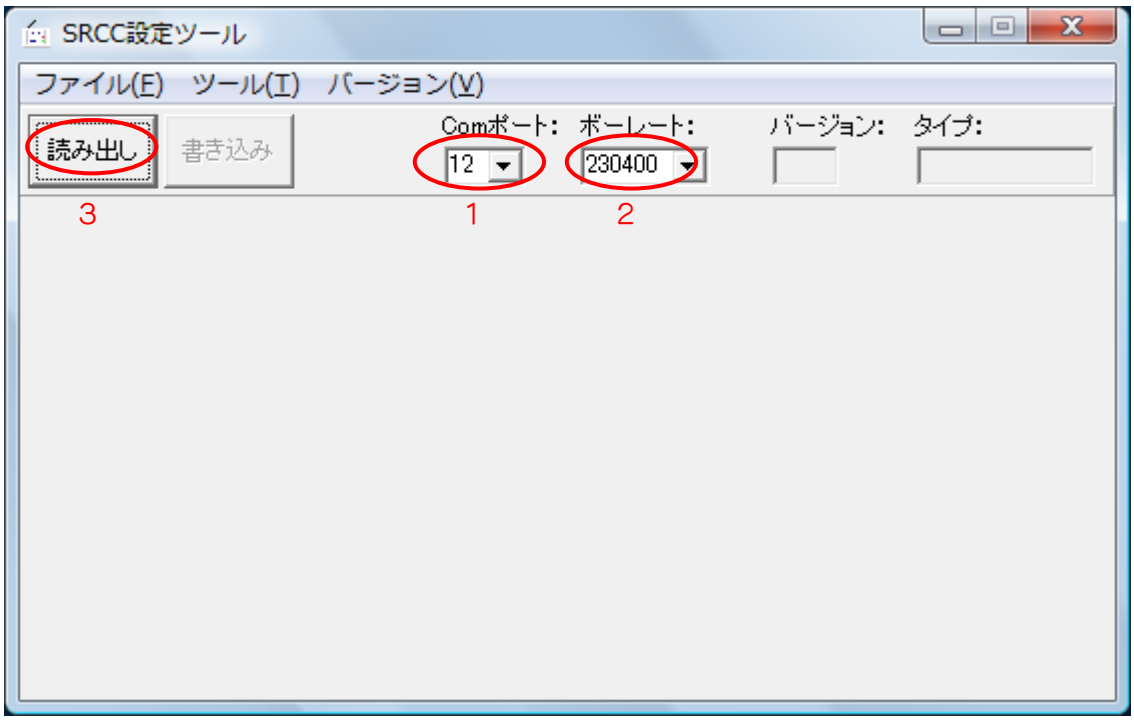
５.通信コンバータの設定

ここでは設定ツール（SRCC 設定ツール）による本製品の設定方法について説明します。

５．１　設定内容の読み出し

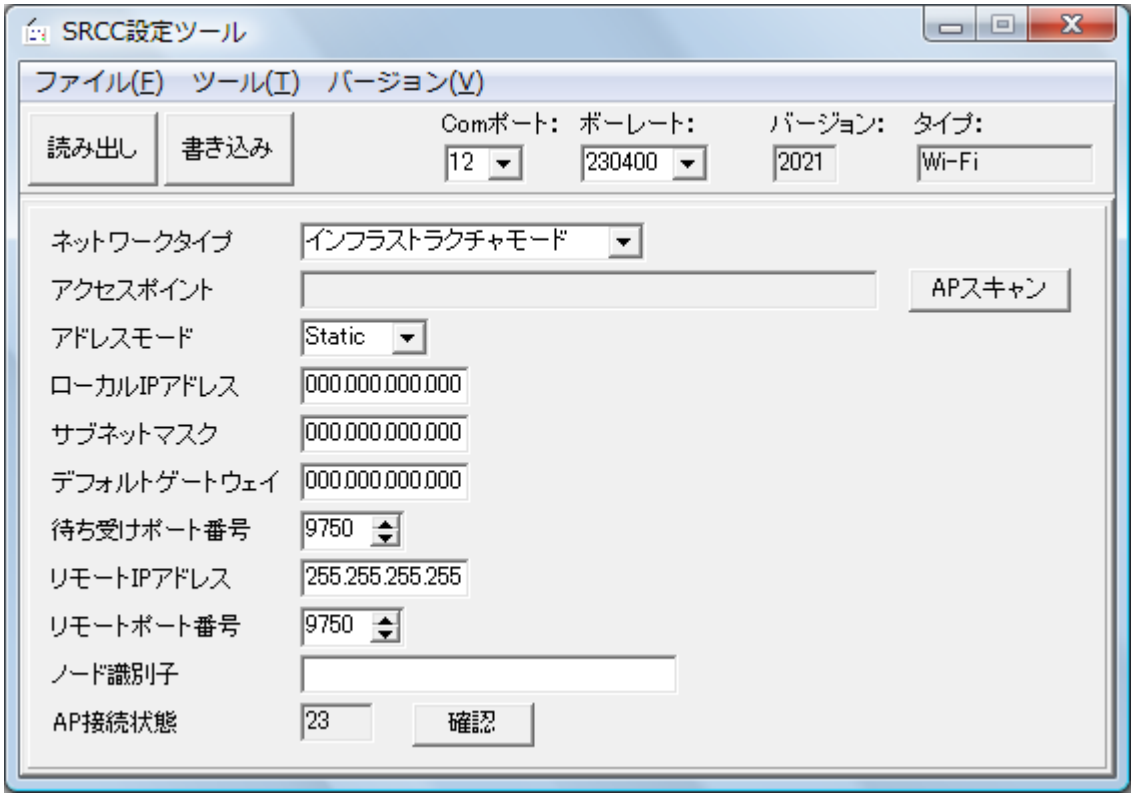
設定ツールを起動したら

１．本製品が接続されているＣｏｍポートを選択する
２．ボーレートが 230400 になっているか確認する
３．［読み出し］ボタンをクリックして現在の設定内容を読み出してください。



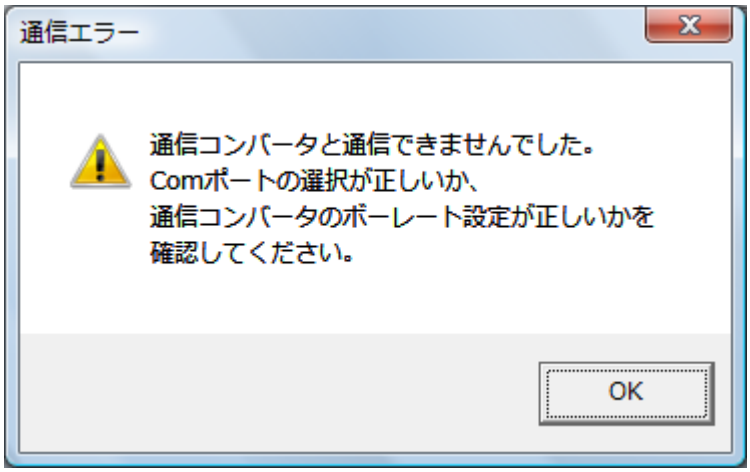
※本製品のボーレートは 230400bps 以外で使用しないでください。

通信コンバータと正常に通信できると、現在の設定内容が表示されます。
出荷状態では、以下のように表示されます。
※通信コンバータのバージョンにより、表示されるバージョンの内容は異なります。



読み出し ボタンをクリックしたときに、以下のエラー画面が表示された場合

通信コンバータが接続されたＣｏｍポートを選択しているか、通信コンバータのボーレート設定が出荷時の 230400 になっているかを確認してください。
通信コンバータが接続され、電源がＯＮになっていることを確認したのち、再度読み出しを行ってください。

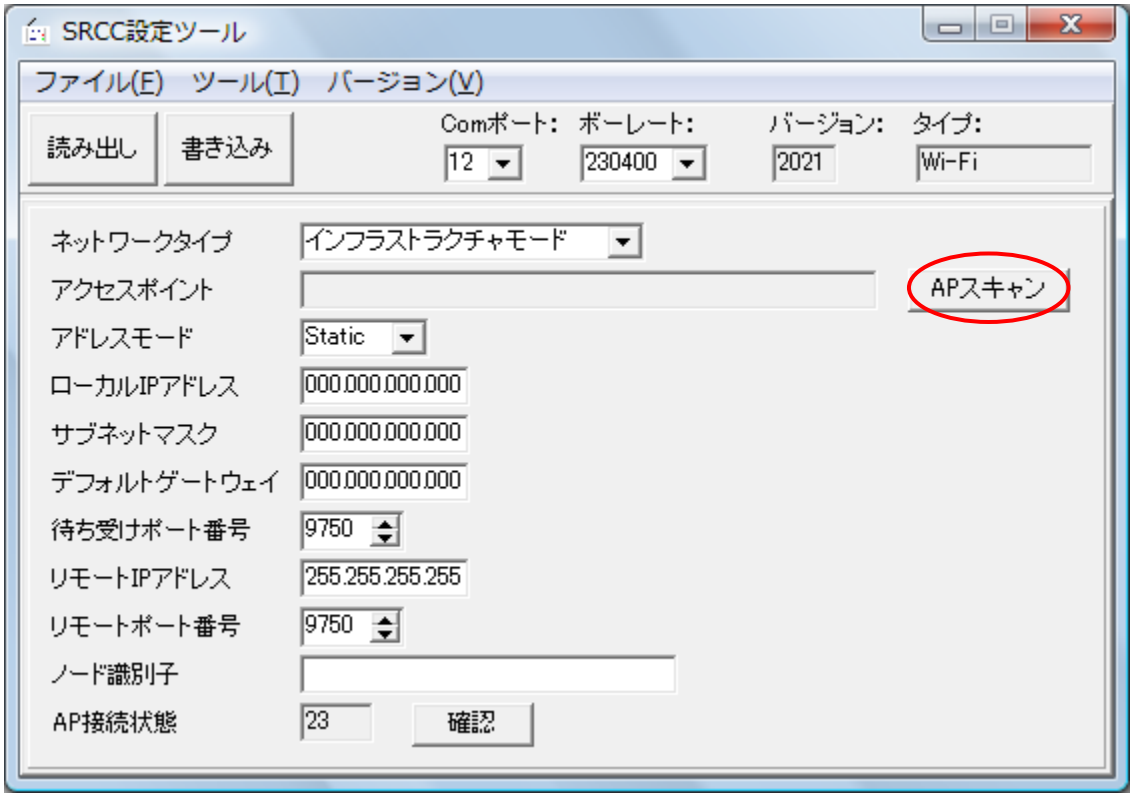


５．２　インフラストラクチャモードでの接続

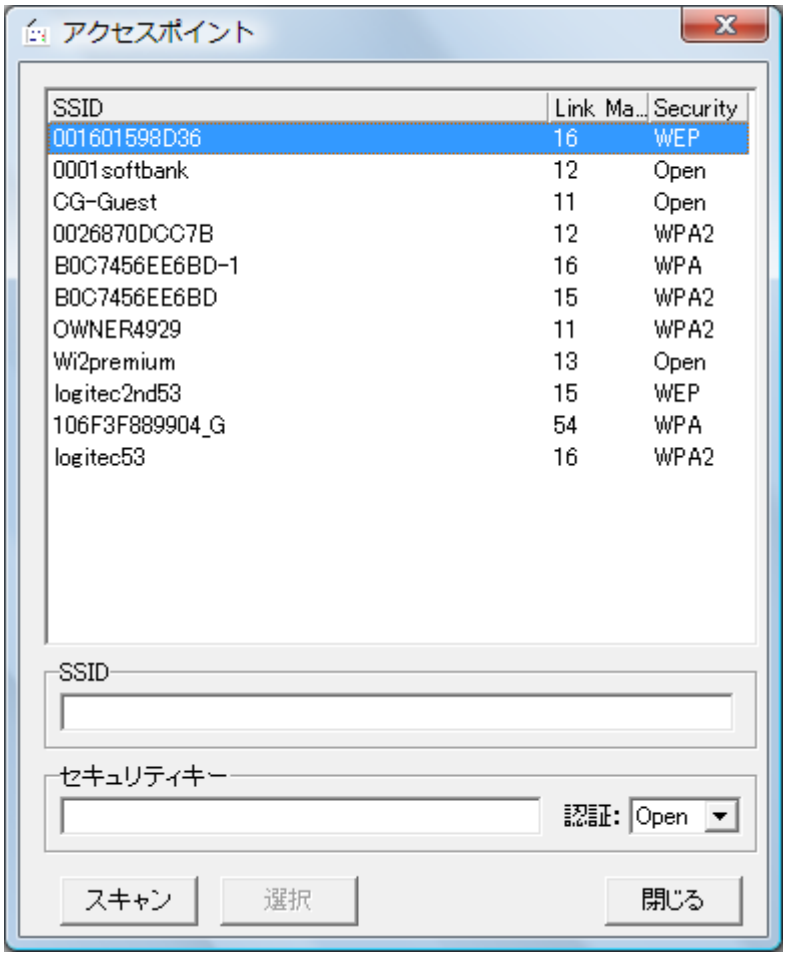
ここではインフラストラクチャモードでの接続について説明します。
アドホックモードについては「5.3アドホックモードでの接続」をご覧ください。

５．２．１　アクセスポイントの選択

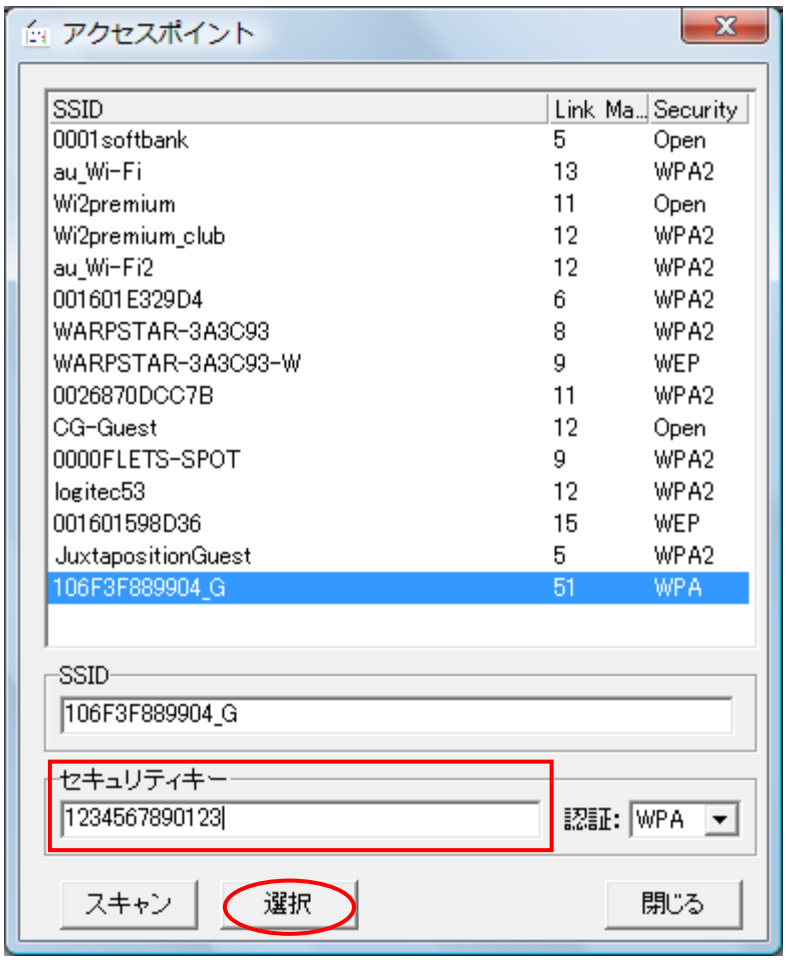
通信コンバータを無線ＬＡＮのアクセスポイントを経由してネットワークに接続するためには、最初にアクセスポイントを選択する必要があります。
アクセスポイントを選択するには AP スキャン ボタンをクリックします。



通信コンバータと通信できると、通信コンバータが検出したアクセスポイントの SSID、電波強度、セキュリティ種別が一覧表示されます。
利用するはずのアクセスポイントが表示されていない場合、［スキャン］ボタンをクリックして再度アクセスポイントのスキャンを実行してください。
それでも利用するはずのアクセスポイントが表示されない場合、アクセスポイントの通信エリア内であるか、アクセスポイントの電源がＯＮになっているかなどを確認してください。

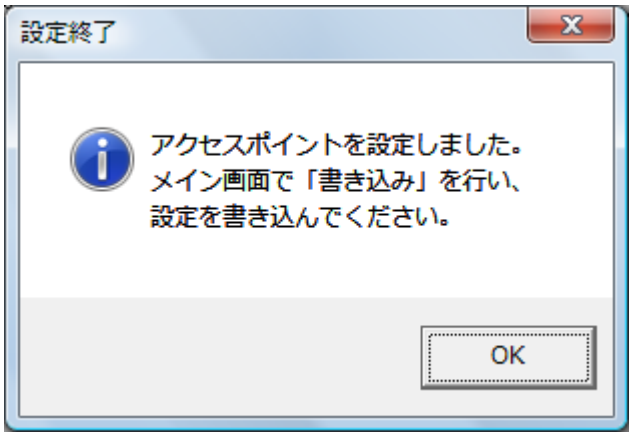


利用するアクセスポイントが表示されている場合は、当該アクセスポイントの SSID などをクリックして選択したあとにセキュリティキーを入力し、[選択]ボタンをクリックしてください。

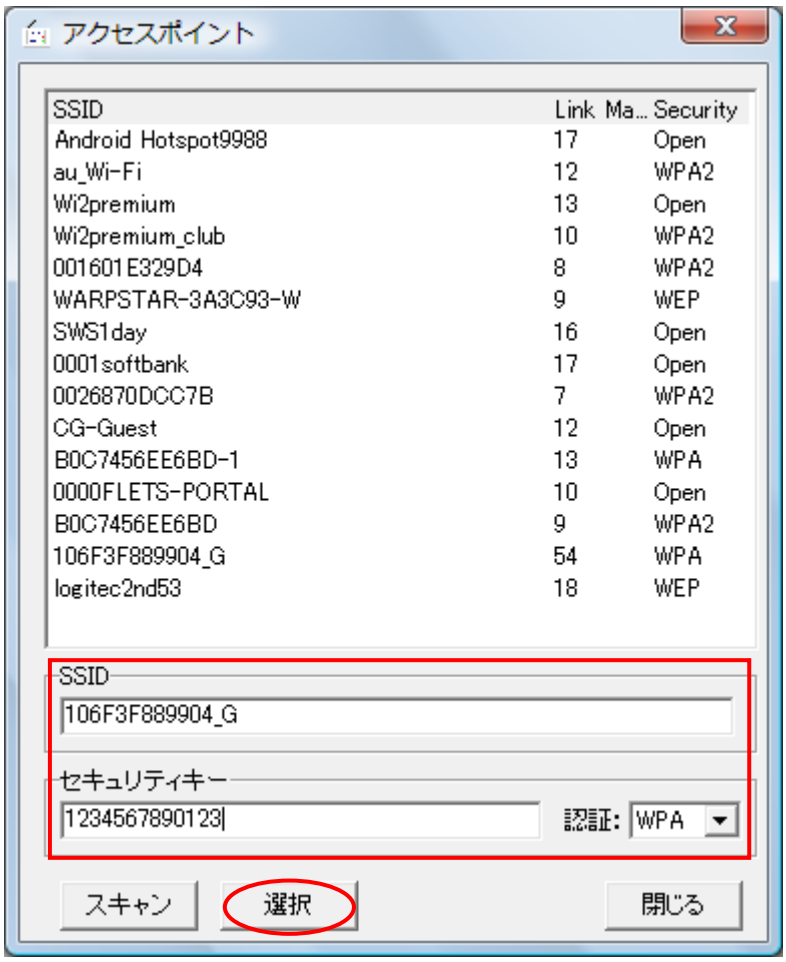


アクセスポイントの SSID やセキュリティキーが不明な場合には、ネットワークの管理者にお問い合わせください。

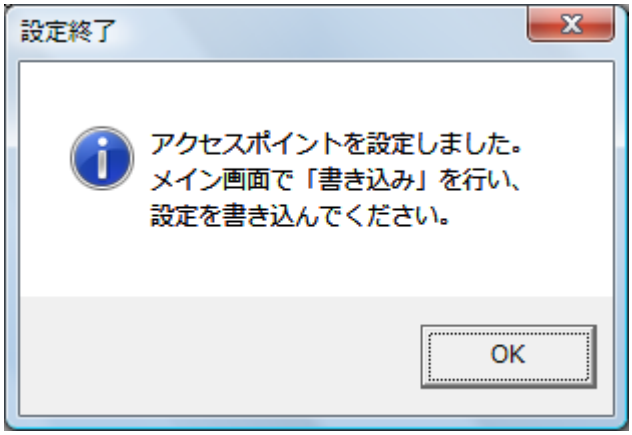
[選択]ボタンをクリックしたあと、通信コンバータへ設定できたら以下の画面が表示されます。
[ＯＫ]ボタンしてメイン画面に戻り、他の項目の設定を継続してください。



利用するアクセスポイントが ANY 接続を許可しない設定の場合は、SSID とセキュリティキーを直接入力し、認証のタイプを選び 選択 ボタンをクリックしてください。

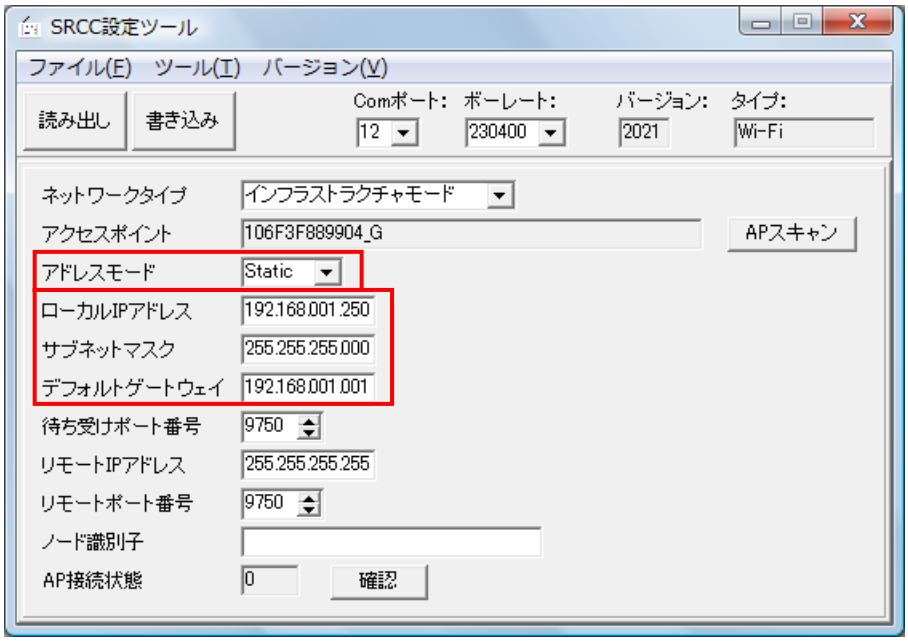


選択 ボタンをクリックしたあと、通信コンバータへ設定できたら以下の画面が表示されます。
ＯＫ ボタンしてメイン画面に戻り、他の項目の設定を継続してください。

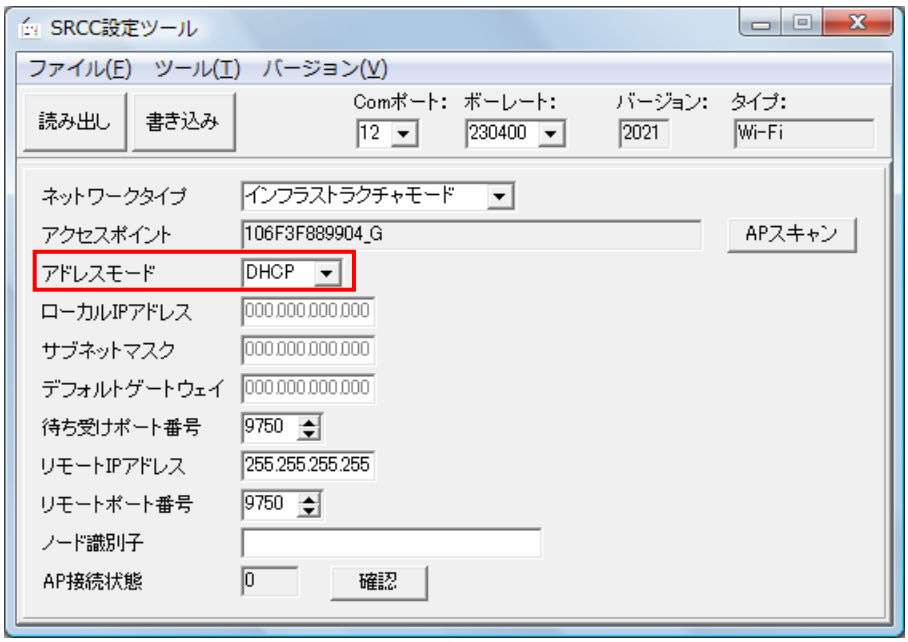


５．２．２　ＩＰアドレスの設定

ロガーソフト for ＦＴシリーズからネットワークを経由してＦＴシリーズへ接続する場合などには、通信コンバータに固定ＩＰアドレスを設定する必要があります。
その場合はアドレスモードを「Static」にし、ローカルＩＰアドレスの設定、サブネットマスクおよびデフォルトゲートウェイのＩＰアドレスなどを設定してください。
どのようなＩＰアドレスを設定すべきかについては、ご利用のネットワーク環境などにより異なりますので、設定が不明な場合にはネットワーク管理者などへお問い合わせください。
下記画面は、ローカルエリアネットワークのクラスCで 192.168.1.0 から 192.168.1.255 を利用している場合の設定例です。



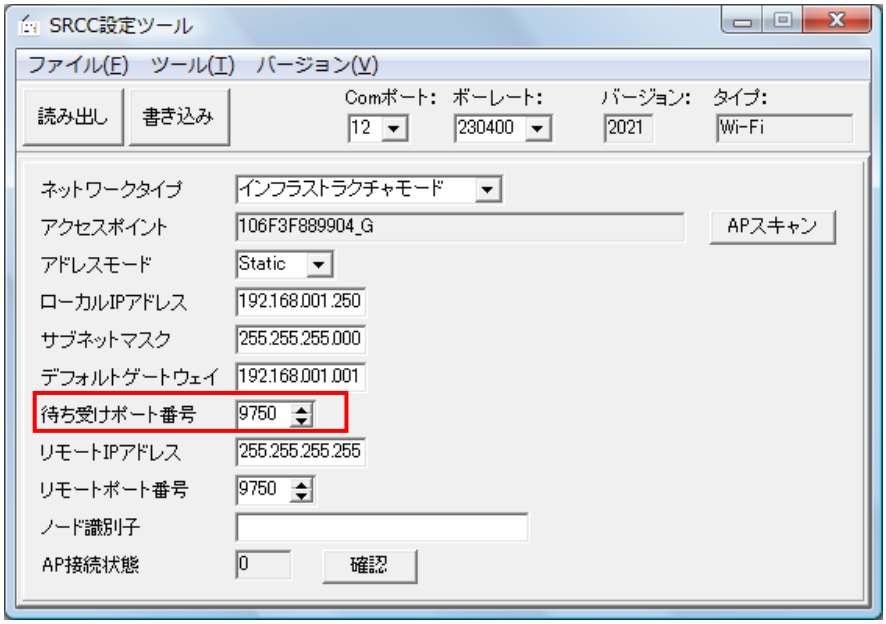
固定ＩＰアドレスの設定を必要としない場合は、アドレスモードを「DHCP」にしてください。
ルーターからＩＰアドレスなどが自動的に振り当てられます。



※DHCP モードの場合、割り当てられたＩＰアドレスがわらないとネットワーク経由での設定等が出来なくなりますのでご注意ください。

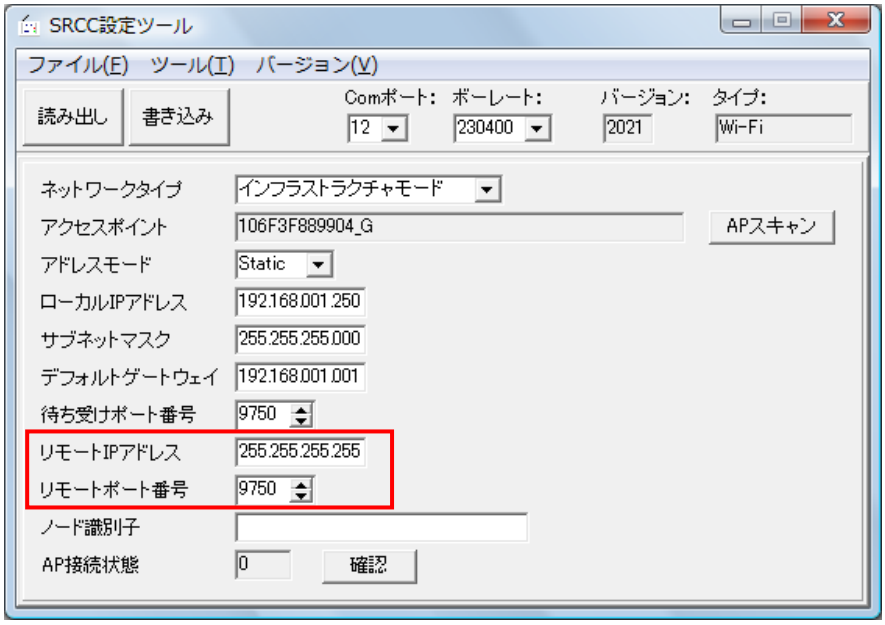
５．２．３　待ち受けポートの設定

ネットワークを経由してＦＴシリーズへ接続するためには、ＩＰアドレス以外にポート番号が必要です。設定ツールでは、待ち受けポート番号として設定します。
待ち受けポート番号は０から６５５３５の範囲で設定でき、初期値として９７５０が設定されています。
設定を変更する場合、特定のプロトコルに利用されている番号は避けるなど注意してください。



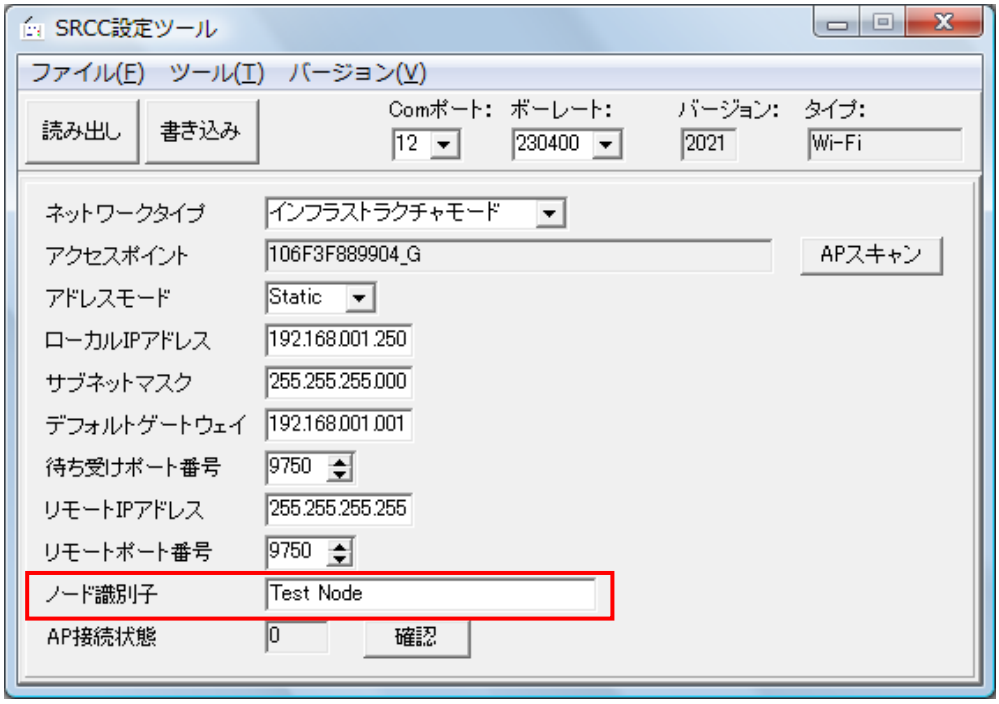
５．２．４　リモートＩＰアドレスおよびリモートポート番号の設定

ＦＴシリーズのＲｅｐｏｒｔタイプにおいて、測定のタイミングに合わせて測定データをネットワーク経由でサーバーへ転送するような運用の際は、データ転送先のサーバーのＩＰアドレスとポート番号を設定します。
リモートＩＰアドレスの初期値は 255. 255. 255. 255、リモートポート番号の初期値は９７５０に設定されています。
設定する値については、受信側となるサーバーの設定と合わせてください。



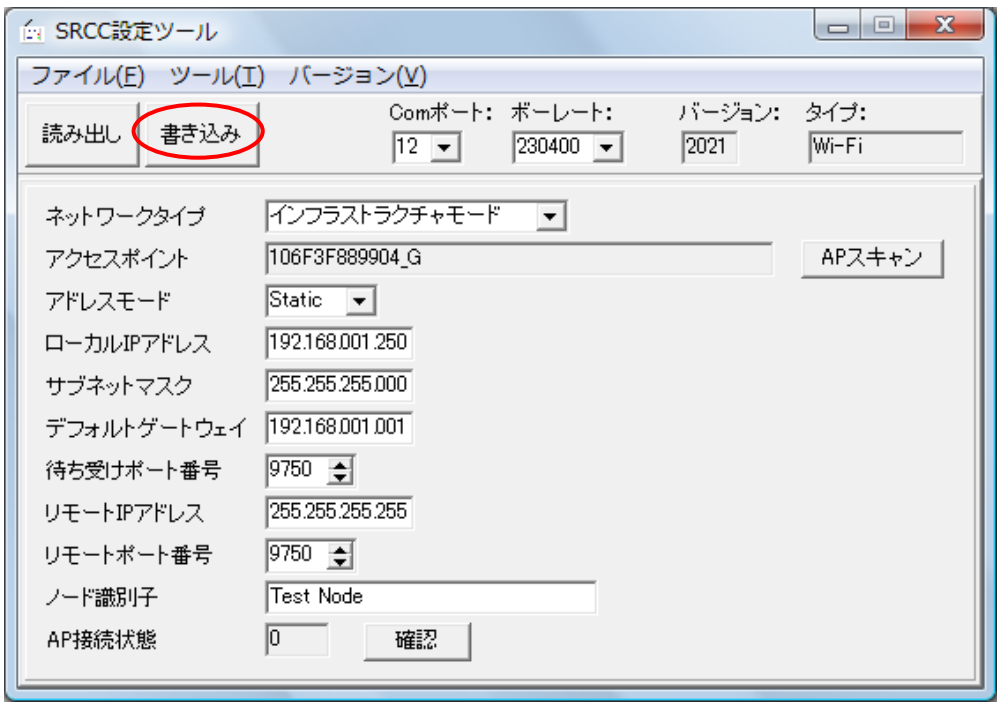
５．２．５　ノード識別子の設定

通信コンバータを識別するための任意の文字列を最大２０文字まで設定できます。
設定できる文字種別は半角英数字のみです。

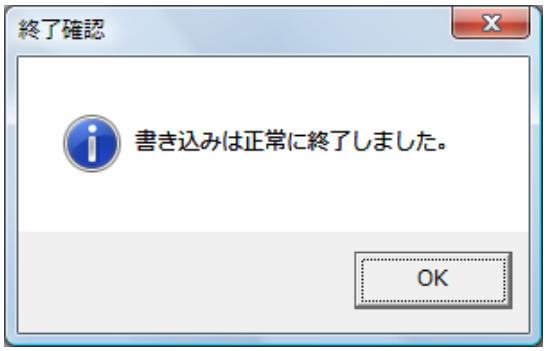


５．２．６　設定内容の書き込み

アクセスポイントやＩＰアドレスの設定が終了したら、書き込みボタンをクリックして設定内容を通信コンバータへ書き込みます。



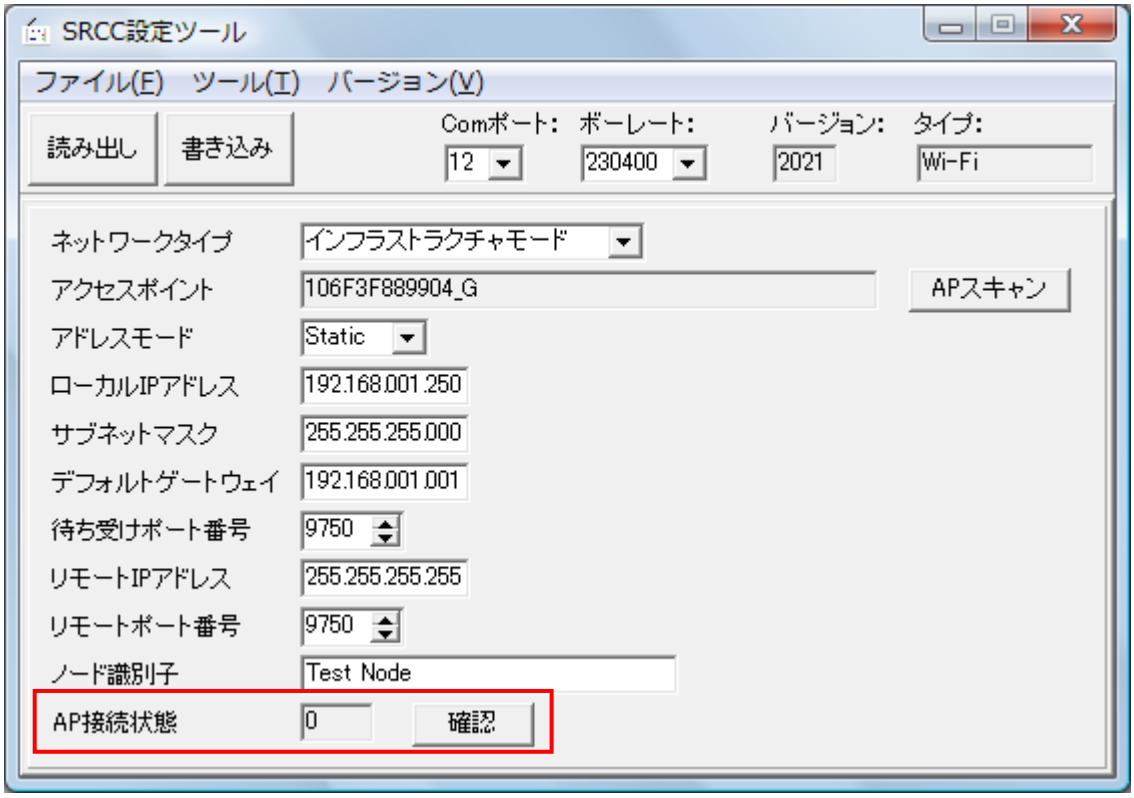
通信コンバータへの書き込みが終了すると以下の終了確認画面が表示されます。



設定した通りの内容が設定されたかを確認するために 読み出し ボタンをクリックし、読み出された内容が設定した通りであるか確認してください。

５．２．７　ＡＰ接続状態の確認

アクセスポイントの接続状態（通信状態）を確認する場合は、ＡＰ接続状態の右側にある 確認 ボタンをクリックします。
アクセスポイントと正常に接続できている場合は ０ になりますが、それ以外の値が表示される場合は何らかの原因でアクセスポイントとの接続ができていないことを示します。



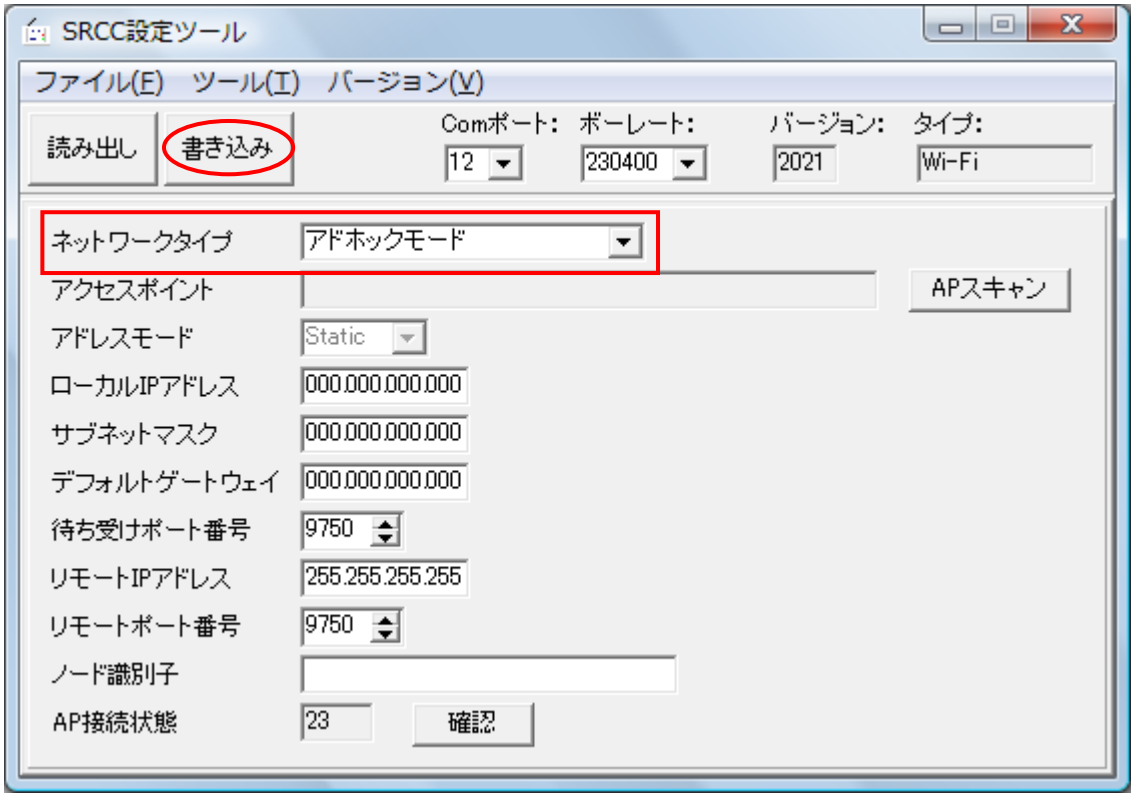
アクセスポイントを含む全ての項目の設定と通信コンバータへの書き込みを行ったにも関わらず、ＡＰ接続状態の値が０以外となっている場合は、下記を参考に原因を調べてください。

０：接続
１：イニシャライズ中
２：イニシャライズ後のスキャン待機中
１３：アクセスポイントから切断された
２３：ＳＳＩＤが設定されていない
２４：無効な暗号化キー（ＷＥＰ用のどちらかがＮＵＬＬまたは無効な長さ）
２７：ＳＳＩＤが検出されたが、接続できなかった
ＦＦ：設定されたＳＳＩＤのスキャン中

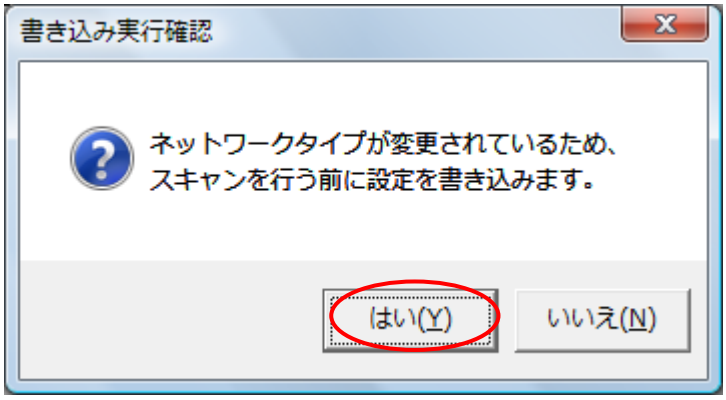
なお、ＡＰ接続状態が０であっても、ネットワークへ接続することができない場合があります。この場合、セキュリティーキーの設定を間違えているか、アクセスポイントとの距離や電波状況の問題から通信ができない状況にある可能性がありますので、改めてアクセスポイントの設定をやり直すか、設置場所とアクセスポイントとの距離を縮めるなどして再度確認してみてください。

５．３　アドホックモードでの接続

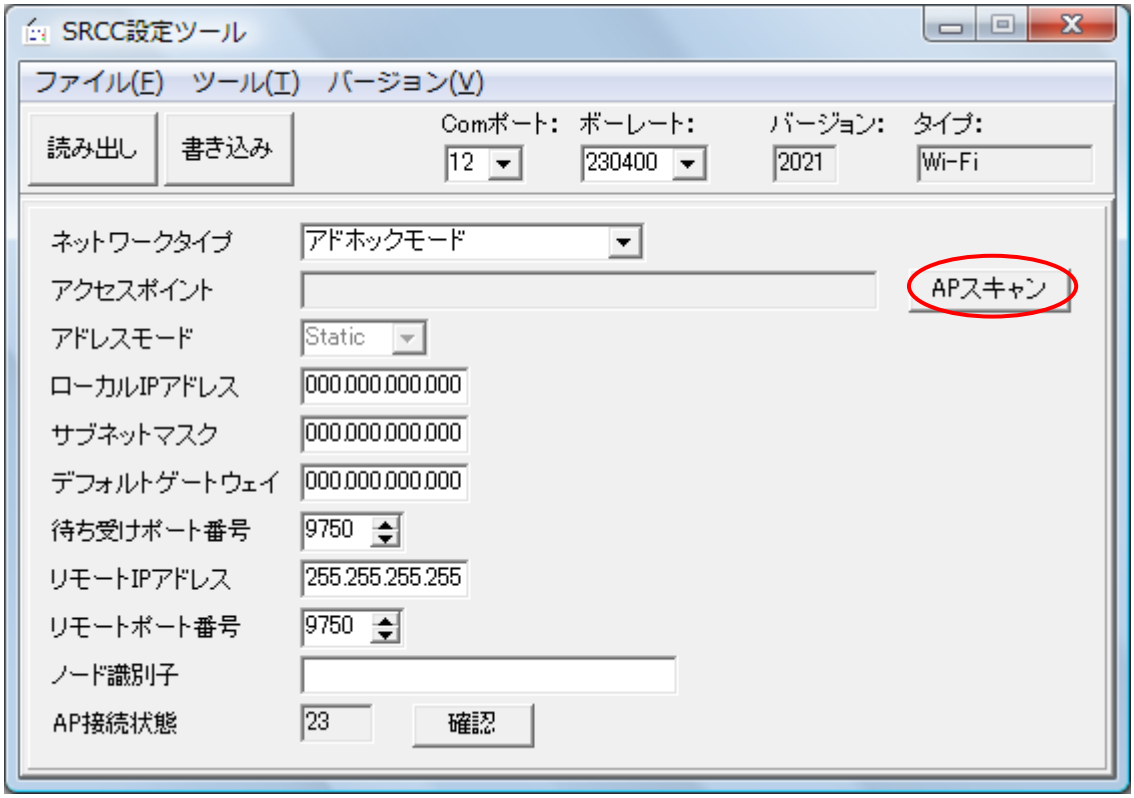
本製品をアドホックモードで動作させる場合は、ネットワークタイプを「アドホックモード」に変更し書き込みを実行してください。



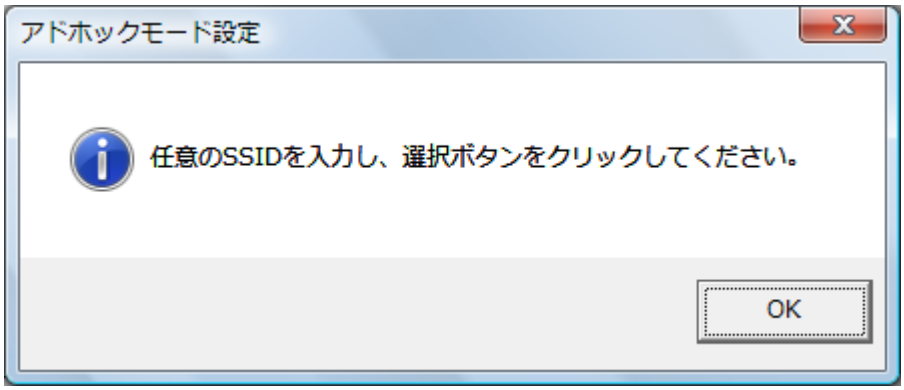
※ネットワークのモードを変更した場合は設定の書き込みをしてください。
　書き込みせずに AP スキャンへ進んだ場合、書き込み実行確認のメッセージが表示されます。
　表示された場合は、[はい]をクリックし書き込みを実行してください。



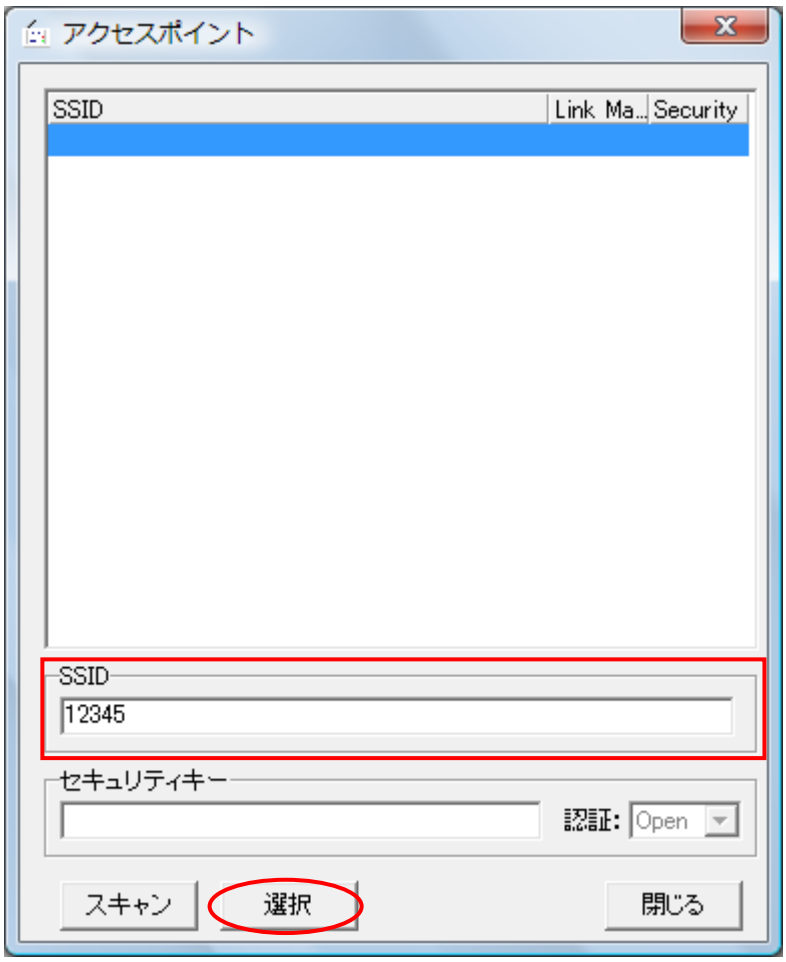
設定をアドホックモードに変更しましたら AP スキャン ボタンをクリックします。



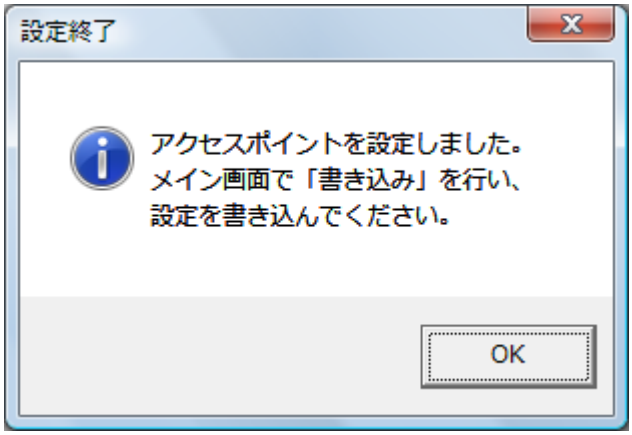
AP スキャンをクリックすると以下の画面が表示されますので OK ボタンをクリックします。



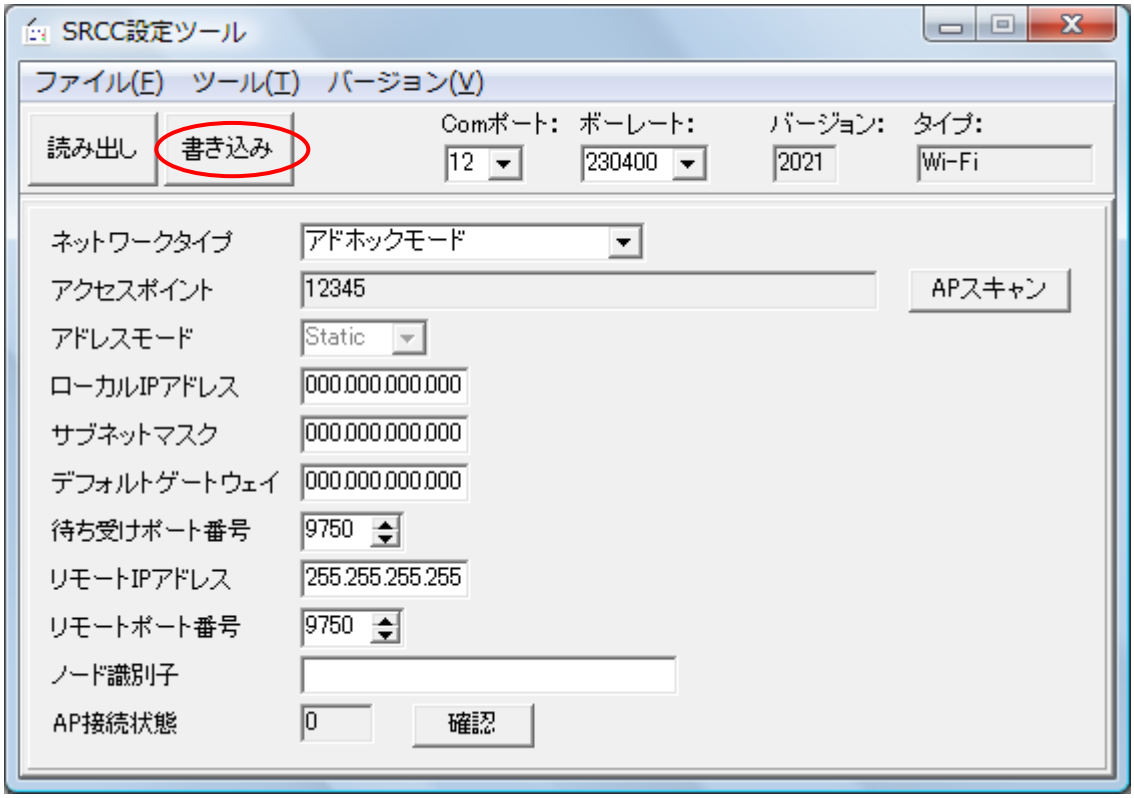
次に、アクセスポイント一覧画面が表示されますので、任意の「SSID」を入力し 選択 ボタンをクリックします。



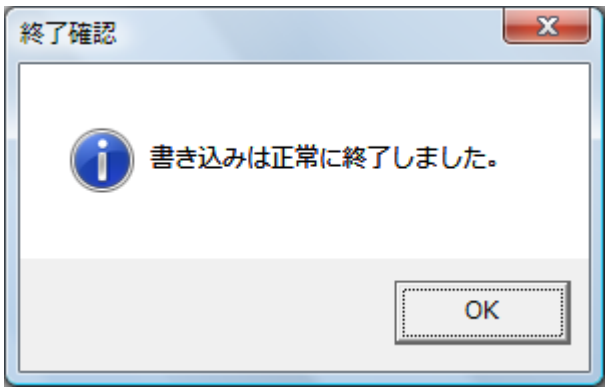
アクセスポイントの内容が設定されたら以下の画面が表示されます。



書き込み ボタンをクリックし設定を書き込んでください。



書き込みが正常に終了すると以下の画面が表示されます。



ローカル IP アドレス等は、「5.2 インフラストラクチャモードでの接続」を参照のうえ運用状況に応じて、設定してください。

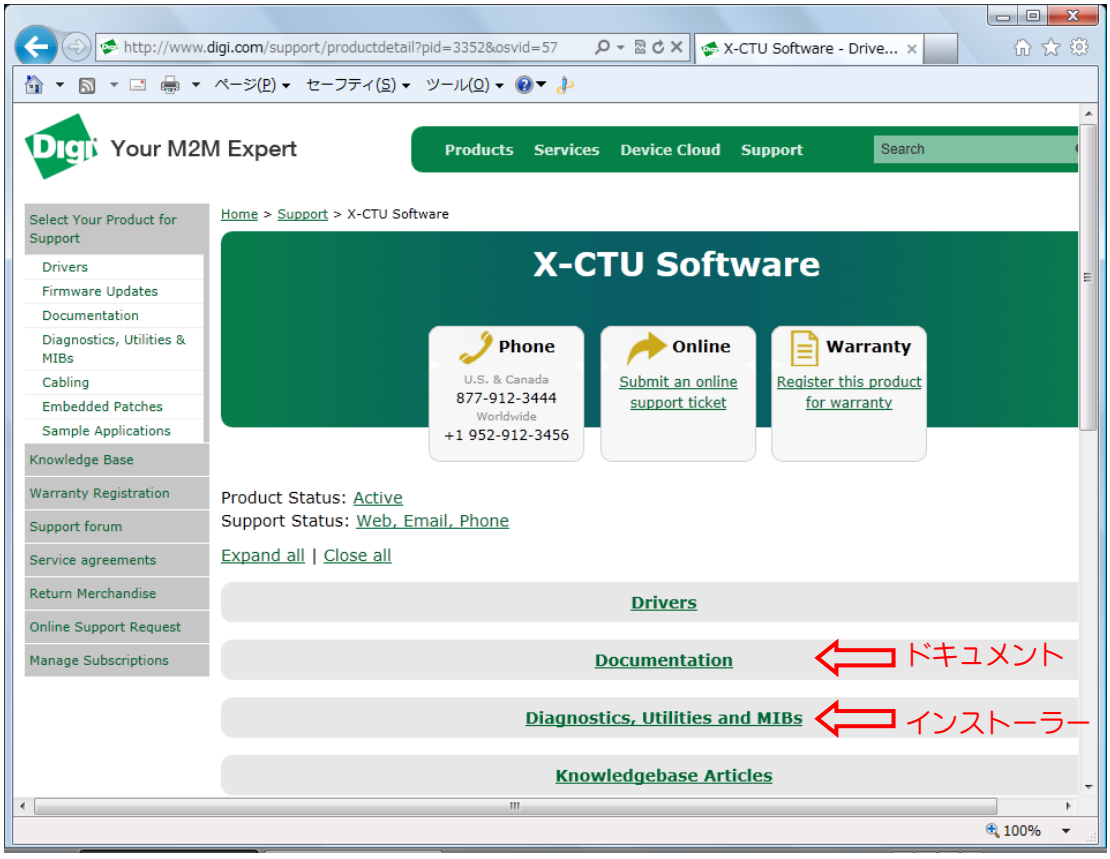
スマートフォン等からアドホックモードで通信コンバータに接続する場合、スマートフォン等の WiFi 設定に通信コンバータの SSID に設定した値を入力し、セキュリティは「なし」と設定してください。

５．４　内蔵モジュールのメーカー製設定ツールについて

本製品が内蔵するシリアル無線ＬＡＮプロトコル変換モジュールであるＸＢｅｅ　Ｗｉ－Ｆｉについては、ＸＢｅｅ　Ｗｉ－Ｆｉの発売元であるＤｉｇｉ　Ｉｎｔｅｒｎａｔｉｏｎａｌ社より詳細な設定が可能な設定ツール「Ｘ－ＣＴＵ」が提供されています。
通常はＸ－ＣＴＵを利用する機会はありませんが、Ｘｂｅｅ　Ｗｉ－Ｆｉのファームウェア（内部プログラム）の更新や障害発生時に初期化を行わなければならないときに、当該ツールが必要になる場合があります。
このため、添付ＣＤの中にＸ－ＣＴＵのインストーラープログラムと関連ドキュメントファイル（いずれも英語版）をＤｉｇｉフォルダにコピーしてありますが、最新版はＤｉｇｉ　Ｉｎｔｅｒｎａｔｉｏｎａｌ社の下記ＵＲＬよりダウンロードできますので、ご利用の機会が発生した場合には当該ページでバージョンの確認をお願い致します。
（添付ＣＤのＸ－ＣＴＵのバージョンは５．２．８．６）

【注意】
Ｘ－ＣＴＵは、設定内容によって本製品が正常に動作しなく場合があります。
ご使用の際には当社までご連絡をいただき、ご使用の目的をお知らせください。

Ｘ－ＣＴＵダウンロードページＵＲＬ
http://www.digi.com/support/productdetail?pid=3352&osvid=57



６.製品仕様

ＵＳＢホストポート	ポート数	１
	コネクタ形状	ＵＳＢ Ａメス
	ＵＳＢ規格	ＵＳＢ ２．０
	ＵＳＢバスパワー供給	ＤＣ５Ｖ／１Ａ以下（ＤＣ１２Ｖ供給時）
ＵＳＢターゲットポート	ポート数	１
	コネクタ形状	ＵＳＢ Ｂメス
	ＵＳＢ規格	ＵＢＳ ２．０
無線ＬＡＮ	周波数帯	ＩＳＭ ２．４ＧＨｚ
	規格	８０２．１１ｂ／ｇ／ｎ
	セキュリティ	ＷＰＡ－ＰＳＫ，ＷＰＡ２－ＰＳＫ，ＷＥＰ
	チャネル	１３
	データレート	１Ｍｂｐｓ～７２Ｍｂｐｓ
	通信距離	屋外見通し最大約１００ｍ ※通信距離は、アクセスポイントの設置場所や障害物の有無などにより変動するため、上記距離を保証するものではありません。
状態表示		ＰＯＷＥＲ ＬＥＤ（緑） ＤＡＴＡ　ＬＥＤ（黄） ＡＳＳＯＣ ＬＥＤ（橙）
動作電源		ＡＣアダプタ（ＤＣ１０～１８Ｖ） 外部電源（ＤＣ８～１８Ｖ）
消費電流		８０ｍＡ以下（ＤＣ１２Ｖ時） ※ＦＴシリーズなど、接続機器の消費電流を含まず
使用温度範囲		－２５℃～＋６５℃
材　　質		難燃性ＡＢＳ
外形寸法		１２７．０(W)×７０．６(H)×３５．５(D)　※突起部を除く
質　　量		約１３０ｇ
保　　証		１年間
付属品		・取扱説明書（本書）　　１部 ・保証書 ・設定用ソフトウェアインストールＣＤ（ＳＲＣＣ設定ツール）

■ サポートのご案内

本製品に関するご意見やお問い合わせは、下記へご連絡願います。

- 電話　　０１１－５９６－０２０１
- ＦＡＸ　　０１１－５９６－０２３４
- メール　　info@mcs-fs.com
- 受付時間　　月曜 ～ 金曜　９：００～１８：００（１２：００～１３：００を除く）
  ※年末年始、祝祭日を除く

株式会社M.C.S
〒060-0063 札幌市中央区南3条西8丁目7番地4 遠藤ビル5F
TEL(011)596-0201　　FAX(011)596-0234
URL http://www.mcs-fs.com　E-mail info@mcs-fs.com